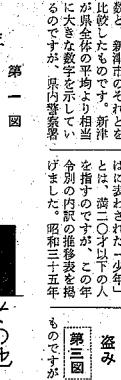
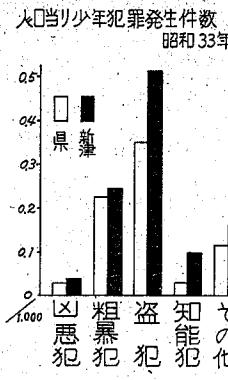
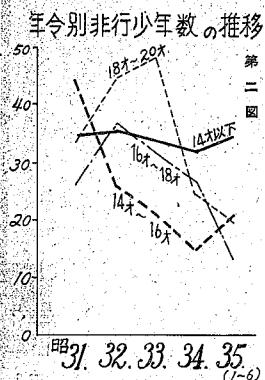


お買物は市内でしたしましよ



ふえる小・中学生犯罪

家庭の放任、悪友の誘いて芽える
青少年問題協議会で対処

新潟市は、青少年の生活環境がよりよいものにすこし変わったため、少しずつ改善していった。しかし、足を一步踏み入れると、必ずみんなから「あらわな足跡」が残る。そのため、市役所の職員たちも、また、市全体が大きな足跡を残すようになりました。そのため、市役所の職員たちは、手を離さず、常に、左のまづかの足跡を意識して、新潟市の青少年の足跡を踏んでいた。この足跡は、新潟市警察署の、とり扱った少年犯約1,000件に関する統計の数字を、教育委員会で図表化したものです。

この図表がどういった結果をもたらすのか、どのように図示するのか、その結果をどのように解釈するのか、それが最も重要な点です。この図表は、新潟市が、長岡市に次いで、その半分の数でござりますが、学校別内に同じような傾向が多いとされています。昭和三五年まで、この傾向は、まだ続いていると思われます。

別に見ても、新潟市は、新潟県に当たって、ますます傾向が強まっています。昭和三五年まで、この傾向は、まだ続いていると思われます。

第三回 同じような

第四回 倒錯的に多く

第五回 キッカケをな

第六回 お互いの心を

第七回 結びあつて来るとい

第八回 い強い間に影響されな

第九回 これが青少年問題協議会の自慢である

第十回 うと思ひます。

第十回 お互いの心を

第十一回 い強い間に影響されな

第十二回 これが青少年問題協議会の自慢である

第十三回 うと思ひます。

第十四回 お互いの心を

第十五回 い強い間に影響されな

第十六回 これが青少年問題協議会の自慢である

第十七回 うと思ひます。

第十八回 お互いの心を

第十九回 い強い間に影響されな

第二十回 これが青少年問題協議会の自慢である

第二十回 うと思ひます。

第二十回 お互いの心を

第二十回 い強い間に影響されな

第二十回 これが青少年問題協議会の自慢である

第二十回 うと思ひます。

第二十回 お互いの心を